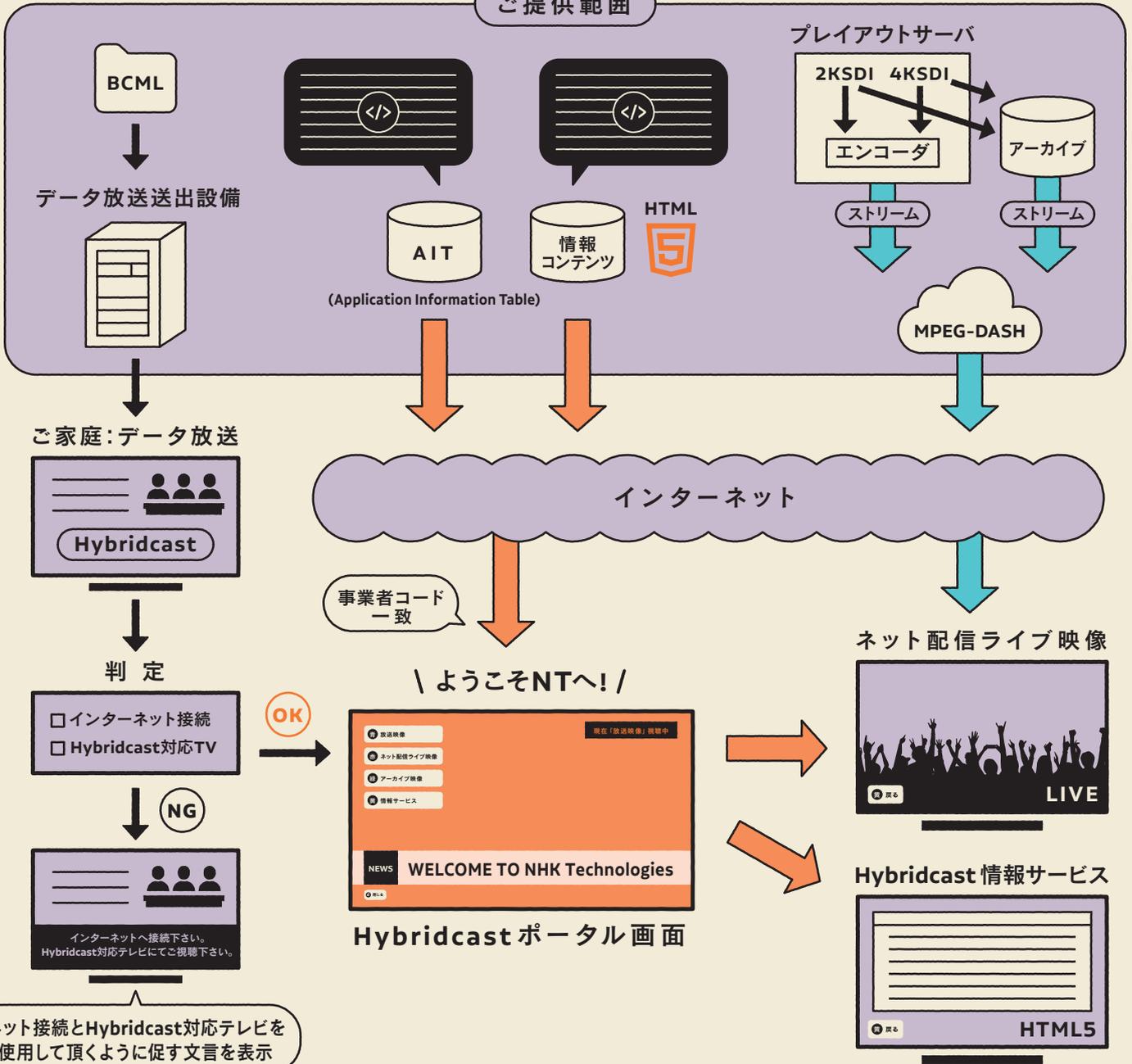


ハイブリッドキャスト コンテンツ配信システム

HYBRIDCAST CONTENTS DELIVERY SYSTEM

お客様が要望されるハイブリッドキャストサービスの実現に向けて、設備構築とコンテンツ制作をワンストップで対応いたします

ご提供範囲



ハイブリッドキャストとは

- 放送とインターネットを連携させるサービスで、すでに1000万台を超える対応テレビが普及しています。
- HTML5の採用によりネット情報の利用が容易となり、データ放送と比較して高解像度かつ多彩な表現が可能となります。
- 4Kを含む映像配信、スマートフォン連携によるテレビへの誘導、視聴データの有効活用などが実現します。



ハイブリッドキャストを始めるには？

NHKテクノロジーズはサービス展開に向けて貴社のお手伝いをいたします。

Q: 現在データ放送を実施しています

ハイブリッドキャストへの入り口を作るためにデータ放送（BML）コンテンツ改修が必要となります。今のデータ放送コンテンツに、ハイブリッドキャストの入り口へのボタンを配置し、ネットワーク接続／受信機のハイブリッドキャスト対応判定を行い、ハイブリッドキャストポータル画面へ導く仕組みを実装することが必要です。

データ放送コンテンツの改修に関して弊社がサポートします。

Q: 現在データ放送を実施していません

今データ放送を実施していなくてもハイブリッドキャストを実施することはできます。ただし現在の多重化システムにハイブリッドキャストへ導くためのデータ放送の送出対応が必要です。

データ放送送出装置も含めて弊社がサポートします。

Q: 「AIT」という言葉を聞くのですが何のことですか？

放送波でインターネットコンテンツを取得するための情報信号を「AIT」（Application Information Table）といいます。ハイブリッドキャストを実行するにはAIT信号がなければなりません。AITは放送波で伝送することもできますが、AITをネット上に置いておくこともできます。データ放送コンテンツでネット上のAITを参照させるという方法が、データ放送システムの特別な改修が必要なくシンプルです。データ放送（BML）に記載される事業者IDとAITに記載される事業者IDが一致しなければ、ハイブリッドキャストは起動できません。事業者IDは「IPTVフォーラム」にて申請することができます。

弊社は、IPTVフォーラムの会員社であり、手続きに関してお手伝いできます。

Q: ハイブリッドキャスト用のコンテンツはどう作ればいいのですか？

ハイブリッドキャストのアプリケーションはHTML5で実現されます。ハイブリッドキャストには放送サービスと連携する為に拡張した機能が含まれています。情報系サービス、映像系サービスなど多彩なサービスを実現することが可能です。HTML5はネットで一般的に活用されている言語であるため制作できる技術者は多いと思いますが、放送との連携には、技術仕様、運用規定を理解する必要があります。

**設備、コンテンツをワンストップで対応できる弊社にお任せください。
実現したいサービスを形にします。**

Q: どのような設備が必要なのですか？

アプリケーション、ネットワーク設備、情報入力システムが必要になります。自社でサーバを構築する場合は、アクセス規模を見極め同時接続を考慮した想定が必要となります。クラウド上サーバである場合は、ストリーム視聴量（ダウンロード量）に応じて課金がされます。

新しいサービス展開を、スモールスタートで対応してみませんか？

